

トルコ為替週報

2021年7月27日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去5週間の動き〉

(6月22日～7月26日)

USD/TRY: 8.4970～8.7800

TRY/JPY: 12.58～12.93 (参照値)

過去5週間のトルコ・リラ相場は、堅調気味の膠着。5日発表されたトルコ6月CPIは市場予想を明確に上振れる上伸。一旦上振れたリラが、その後軟調推移をたどったのは、実質金利低下を嫌っただけでなく、拙速な利下げの可能性を警戒した値動きではなかっただろうか。8日以降のリラ反発を、逆に、物価上振れ=利下げ可能性の低下と読む見方もあったようだが、些か無理を感じた。むしろ、トルコ中銀が、6月に、国営石油ガス会社(BOTAS)に対するドル売りを再開したと発表(7日)したのが好感されたのではないかと。同銀による同ドル売却は、昨年12月来5ヶ月ぶり、外貨の原資は、金保有の売却や金建債券発行に求めた模様。敢えて、同銀が、外国人観光客流入の復活や経常収支改善に自身を深めている証と受け止める向きもあったようだ。14日のトルコ中銀金融政策委員会における政策金利(1週間物レポ金利)据え置きは市場の一致した予想通りだったが、その後リラは若干の上振れを見せた。6月CPIの上振れにもかかわらず、追加利上げの示唆がなかったことに失望する向きもあったようだが、エルドアン大統領が予告した利下げ(後述)の「地均し」的な動きがなかったことに安心感を抱く見方が強かったのではないかと。その後は、現地市場が連休(20～25日)になったこともあり、リラの値動きは膠着した。

〈過去5週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/24	7:00	設備稼働率	6月	76.6%		75.3%
6/25	8:00	外国人観光客(前年比)	5月	+3038.8%		+3162.0%
6/30	7:00	貿易収支(USD)	5月	-4.10bn	-4.10bn	-3.07bnr
7/5	7:00	CPI(前年比)	6月	+17.47%	+16.80%	+16.59%
7/9	7:00	予想インフレ率(12ヵ月)	7月	+12.62%		+12.12%
7/12	7:00	経常収支(USD)	5月	-3.08bn	+2.95bn	-1.73bnr
7/12	7:00	失業率	5月	13.2%		13.8%r
7/13	7:00	鉱工業生産(前年比)	5月	+40.7%	+37.2%	+66.3%r
7/13	7:00	小売売上高(前年比)	5月	+27.0%		+42.5%r
7/14	11:00	1週間物レポ金利		19.00%	19.00%	19.00%
7/16	8:00	財政収支(TRY)	6月	-25.0bn		-13.4bn
7/26	7:00	設備稼働率	7月	76.7%		76.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(7月27日～8月2日)

USD/TRY: 8.500～8.650

TRY/JPY: 12.75～13.00

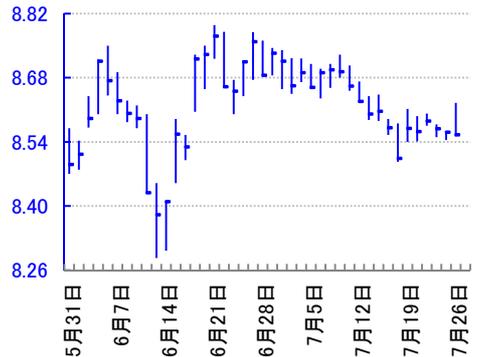
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、方向感を欠いた膠着を予想。目先最大の注目は8月12日のトルコ中銀金融政策委員会における利下げの有無であり、その是非を占う上で3日に予定される7月CPIの発表ということになる。足元物価動向に鑑みれば、利下げの是非など議論している場合ではないはずだが、エルドアン大統領が「7月か8月には利下げを開始するだろう」と明言している(6月1日)以上、8月利下げの可能性は払拭できない。例年、7月に自動的に実施される物品税(注1)引き上げの見送りを決定(6月25日)したことで、万が一にも、7月CPIが6月のそれから減速するようなことがあれば、「物価は6月で天井を打った」と強弁することが、利下げの良い訳を与えるかもしれないが、CPIが前年比で減速するためには、前月比で+0.58%を下回る必要があり、年初来の物価推移を振り返れば(注2)極めて高いハードルと言える。トルコ中銀の経常収支改善見通しの背景には、外国人観光客流入の再開があるが、前年比で+3000%を超える目覚ましい改善も、昨年の落ち込みの反動に過ぎず、実数で見ると例年(19年以前)の水準にはまだまだ遠く及ばない。また、トルコ資産にとっては、米連銀が予想(市場の織り込み)以上に積極的な金融緩和引き揚げ(=金融引き締め)に着手することも大きなリスクで、目先、仮に値幅が出るとしたら、リラ安方向を警戒することになるのではないかと。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
7/30	7:00	貿易収支(USD)	6月		-2.70bn	-4.10bn
	8:00	外国人観光客(前年比)	6月			+3038.8%

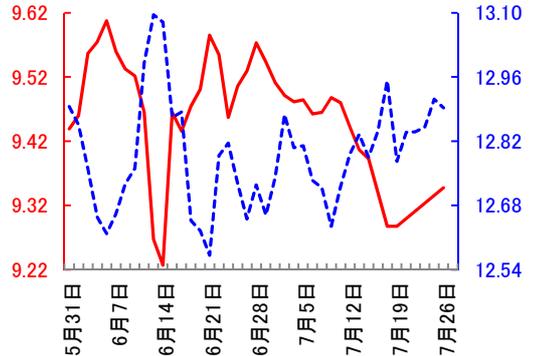
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/TRYの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)



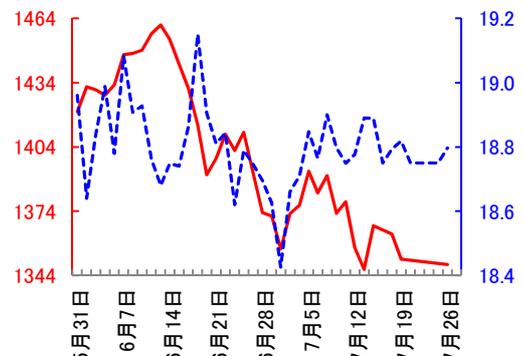
バスケット/リラの推移(トルコ中銀公示)

リラ/円の推移(ロンドン 17:00)



株式市場の推移(ISE 100種指数)

長期金利の推移(5年スワップ金利)



(資料:トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レポ金利		19.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1	+7.0%
失業率	5月	13.2%
消費者物価(前年比)	6月	+17.47%
鉱工業生産(前年比)	5月	+40.7%
小売売上高(前年比)	5月	+27.0%
貿易収支(USD)	5月	-4.10bn
経常収支(USD)	5月	-3.08bn

(注1) 酒税、煙草税など

(注2) 年初来、前月比CPIは平均で+1.36%

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。